

# 彼らも大津町の「誇り」だ

「い」と話した。このチームが大津町に存在していることが、一つの誇りなのだ。渡辺監督は、「野球部も人材育成機関の一つだ」と話していた。選手に話を聞いていても、監督の意図は伝わっているのだろう。全力を尽くして、自分の役割を果たす。それがチームのためだということを知っている。「ワン・フォー・オール・フォー・ワン」という言葉がある。一人はみんなのために、みんなはひとりのために。野球だけではなく、すべてにおいて大切な言葉だと思う。野球という媒体を通じて、選手たちは人間的に

成長していく。それは結果的に野球界にも貢献できるし、企業にも貢献できる。そして広く見れば、社会全体にも貢献していることになるだろう。「会社あつての自分たち」という言葉を何回も選手から聞くことができた。長く引く経済不況の中では、必要なものでもあきらめなければならぬことでもある。日産自動車九州の休部などは選手たちにとっては対岸の火事ではない。選手たちは、いま野球ができる喜びを感謝し、一人の社会人として会社の業務に真摯に取り組んでいた。

悔しい敗北。しかしホンダ(狭山市)が東芝(川崎市)を破ったことで、ホンダ熊本の無念は晴らされた。結局、ホンダが13年振り、2回目の優勝を決め、第80回の都市対抗野球は幕を閉じた。6年ぶりの東京ドーム出場は、大津町にとって久しぶりの盛り上がりを見せた。それは、町民応援団の結成からも分かるだろう。応援団のメンバーは70人以上になり、応援団は東京ドームで声の出る限り、ホンダ熊本を、大津町を応援した。応援団の一人は「東京ドームで試合があり、それを応援できることが素晴らしい」と話した。このチームが大津町に存在していることが、一つの誇りなのだ。

大津町には、多くのスポーツマンがいて、多くの企業がある。それは、多くの誇れるものがあるということ。ホンダ熊本の活躍もその中の一つだ。大会で選手たちは、間違いない町の誇りをかけて戦ってくれた。それは、右腕に輝いていた大津町の町章でも分かることだろう。町の元気は数字で語ることができないものじゃない。大津町の多くの人が、ホンダ熊本の活躍を見ることで大津町の誇りを感じ、町をもっと好きになってもらえれば、大津町はもっと元気になる。もっと明るいまちになるはずだ。



さいとうひろゆき  
齋藤洋征  
ホンダ熊本私設応援団  
団長



私設応援団の設立は平成元年年で、今年で21年目を迎えます。団員も50人を超え、設立当時から倍以上に増えました。野球が好きの人が集まって、ホンダ熊本を応援しています。年に1回ですが、激励会をホンダのグラウンドでやっています。選手や監督と語りあうことができて、もっとチームのことを知ることができると選手や監督や監督を知ると試合を見るのがより面白くなるんですよ。

応援団の夢は、ホンダ熊本を応援して、結果的に町が元気になってくれることです。なぜ社会人野球があるのか、連帯感の大切さを知ると人は成長します。社会人野球は、人材育成も目的にあると思っています。人が育てば、企業は元気になるはずですからね。大津町は企業が多い町、企業が元気であれば町も元気になると思っています。

あとは、もっとホンダ熊本の皆さんと町民の皆さんとのふれあいの場を作りたいと思っています。私は3代目の団長になりますが、ホンダ熊本私設応援団は、今後もホンダ熊本を応援し続けていきたいと思っています。

## 支える人

今年の都市対抗野球大会は終わった。  
チームを支えた2人にお話を伺った。

### 野球を通しての人づくり

都市対抗野球は、6年ぶりの出場です。企業スポーツをやっているということは、出場することや勝つことに目標があるのですが、監督になって、「今、企業スポーツに求められていることは、勝つことだけなのか？」というのを考えるようになりました。勝つことだけでは無く、野球を通じて「人づくり」をやっていかなくてはならない。その思いで、選手たちに指導しています。

私もキャッチャー出身なので、特に思い入れが強いのですが、ピッチャーだけではなく、キャッチャーも重要なポジションです。2人で一つ、観察と洞察に優れたキャッチャーは好リードにつながります。目に見えないものを大切に、考え方を大きくすることが必要です。技術だけの試合は低次元の戦いになりますから。

ホンダ熊本製作所の人材育成機関の一つとして考えていかないと、硬式野球部は生き残っていけないと思っています。「DO MY BEST」ベストを尽くすことが、技術の向上にもつながりますし、人間の成長につながるものだと思います。

思っています。

### 大津町を背負って

ホンダ熊本は、都市対抗野球では、数少ない町代表のチームです。活躍ができれば、町のためになると思っています。私設応援団の皆さんもいますので、その期待に応えるためにも頑張りたいと思います。

勝つことも貢献ですし、人材を育成することも貢献だと思っています。その他にも野球部としていろんなことに貢献していきたいと思っています。活躍することで町が元気になればうれいですね。



わたなべまさたけ 35  
渡辺正健  
大分舞鶴高校→明治大学→Honda熊本

